

# 寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会 介護老人福祉施設 寿楽荘  
 編集：広報委員会  
 〒198-0213  
 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497番地  
 TEL 0428-83-2338 Fax 0428-83-3705  
 E-mail: jyurakusou@futabakai.or.jp URL: http://www.futabakai.or.jp

充実したシニアライフのために

### 施設給付の見直しについて

前号でもお知らせいたしました「施設給付の見直し」について、今号では**施設利用料金表**を3ページに掲載いたしました。  
 現段階では自己負担上限額、生計困難者への対策、生活保護受給者への対策などが確定しておりませんので、目安としてご確認下さい。  
 所得段階につきましては、各保険者(区市町村等)にてご確認下さい。  
 介護保険制度改正内容詳細が明確になりましたら、現在ご利用いただいております皆様には下記の予定で契約書別紙(重要事項説明書)を再契約いただくこととなりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

8月中:新利用料・契約書別紙を作成。  
 9月中:契約書別紙の説明・承諾(契約)。  
 10月~:改正内容でのサービス提供。



## 『老い支度 覚え書』

自分で書き込む人生ノート

● 倒れて意識を失ったり、事故による急な入院の時、あなたの病歴や服用中の薬などを医師にどう伝えますか？

● 入院を、病状を、伝えたい相手は誰でしょう？ 周りの人に伝えてもらえますか？

● 親や自分の葬儀について考えたことはありませんか？ どんなイメージを持っていますか？「こうしたい」という希望はありますか？ それをどう伝えますか？

● もしもの時、言葉を残したい、一言お礼を言いたい、そんな人はいませんか？

● 財産処分などで気がかりなことはありませんか？

● たまに自分の生涯を振り返って見たことはありますか？

「まだ早い」と言わないで、気力・体力の十分な時にできるのが「老い支度」です。これはあなたの人生ノート。書けることから、心静かに、記入してみてください。

編集・発行 シニア暮らし会

http://www.seniorclass-kai.com

送料元: 〒061-1105 北広島市西の里東2-12-9 代表 山口ゆきこ 電話・ファクス: 011-375-3630

ノット3冊と封筒入り文書などのセットです。  
 定価 1200円  
 (消費税はいただきます)

シニア暮らし会より『老い支度覚え書』をご紹介します。施設利用者の方に限らず幅広く多くの方に役立つかと思いご紹介させていただきます。最終ページにも資料が掲載されておりますので是非ご覧下さい。  
 ご希望がございましたら直接シニア暮らし会へお問合せいただくか、施設でも対応いたしますので事務所へお申し付け下さい。

長崎のペーロンと沖縄のハリー考 健康談義 (その十一)

介護老人福祉施設寿楽荘 医学博士 佐藤守雄

競舟(せりふね)または布奈久良倍(ふなくらへ)倭名抄)について、もの本にいわく山口県大島郡橋町の安下庄では、村祭に若者連によって舟こぎ競技が行われ、これをおしふねといった。青年組と中老年組の舟はそれぞれ約25人、五丁櫓だてである。岡山県笠岡市の真鍋島にも益に同様の行事があり、また同県下津井でも5月節句におしくと称する同趣のことが行われる。下津井では村内の各組から二艘ずつ出て互いに勝負を競い、御幣を持つたせり(指揮者)が、舳に立って漕ぎ手を鼓舞する。九州志岐島の勝本浦のふなぐる(10月14日)、鹿児島県長島のせりふね、あるいは奄美大島のはねぎなどともまた同じものである。九州南西部地方にはペーロン系統の名称で、多く漁村、港町にこれが見られるが、5月節句に限らず盆や村祭に行つ所もあり云々。

その中でも長崎のペーロンや、沖縄県糸満のハリーは有名である。ペーロンという言葉は外来語を思わせるが、中国から伝えたものといふ。中国語の白竜(white dragon)又は飛竜(fei long)が語源とされている。毎年太陽暦の6月中旬頃(旧暦の端午節句)に、長崎港内で行われる競漕で、細長い舟に数十の漕ぎ手がつき、ドラや太鼓に合わせて力漕し、先着を争うといふ行事である。一方、糸満のハリーの方は爬竜(pa long)が語源で、一部で言っているハリー又はハリーのの方が原語に近い。那覇でも行われるが、今では糸満のハリーが最大である。糸満港を見下ろすサンティンモウといつ丘で、ノ口(祭)による豊漁の祈願祭、神人達による舞踊の後、御願(うがん)ハリーが始まる。サンティンモウの丘上で大きな旗を旗竿につけて高くかき出し、出発の合図を送る。すると三隻の舟が猛然と走り出す。勝った順に白銀堂に集まり、堂前で円陣を作り鐘を打ち、歌をつたいたがら踊る。

(次号に続く)

### 寿楽荘事業報告

総括

施設の目標として経費減額等により利用者への処遇低下とならないよう「生活エンジョイ」「安心して過ごせる施設」を目標として、利用者個々の特性を考慮した多角度からのサービスの提供に努めるとともに、利用者の生活空間を拡大すべく環境整備に努めた。

経営面では昨年に引き続き、ランニングコストの見直しを図り、経常経費の減額に努めた。また平均介護度は3.37なり、今後は施設の財政面を考慮した目標の介護度を設定しつつ、ベッド回転率を上げるよう更なる徹底を図っていききたい。ともあれ安定運営、利用者への安心感、安全性を提供することを今後も継続していききたい。

短期入所生活介護事業においては、空ベッドの利用が増加し、実績をあげているところであるが、寿楽荘居宅介護支援事業所については、事業開始以来採算がとれず、将来的にも財政的な見込が立たないことから3月31日付で廃止手続きを行った。

総体的には計画目標の「穏やかに接し、和やかさを保ち、にこやかな生活」という生き生きとした施設構築は実現できたと思われるが、慢心せず今後も生活する立場になって施設サービスを図っていく。

なお各部門については以下のとおり実施した。

運営管理

居室脱臭機を導入し利用者の潤いのある生活を提供できるよう、環境整備を行った。また、介護保険法の改定を視野にOA機器の買替え等を行い将来に向けた事務処理の効率化を図った。

生活処遇

事故防止対策として昨年に引き続き、畳、マットレスの導入配置、心身状況等に応じた居室分けを心がけた

風予防対策

高齢の利用者にとっては生命の問題になるので室内温度の一定化と水分補給の充実に努めた。又職員へ意識徹底を図りつつ、職員が感染媒体とならないように勤務体制の確保、予防接種の施設負担を行った。

抑制防止

抑制の無意味を認識し徹底を図り、体動が激しい方には畳、マットレスを配置した。

生命維持上やむをえない場合については家族、後見人等に今後も説明と理解に努める。

職場内研修

従来から更に充実した内外の研修を行い、良質なサービスが提供できるように個々の資質向上を図った。

給食処遇

給食事業報告による。

医療処遇

常勤医師2名、非常勤医師1名の指導により利用者のメンタル面の支援を目標として医療業務に当たり看護職の増員により目標の達成に大きく前進できた。

リハビリ

従来どおり施設利用者と在宅利用者の為に、早期実施を目標とした。

又、PT・OT・医師の指示により、的確な機能回復訓練を実施し、利用者には大変喜ばれた。

防災対策

消防計画に応じた訓練の実施をし、利用者の人命を守る意識の徹底と、緊急時での対応及び臨機応変な避難、救急活動を行えるようにした。

### 貸借対照表

法人名 社会福祉法人双葉会 平成17年3月31日 現在  
 (会計区分名) 特別養護老人ホ-ム寿楽荘

別紙1-3

資産の部				負債の部			
	前年度末	当年度末	増減		前年度末	当年度末	増減
流動資産	454,929,991	524,454,955	69,524,964	流動負債	22,474,278	23,567,503	1,093,225
現金預金	327,626,231	407,767,449	80,141,218	未払金	19,035,537	20,093,475	1,057,938
未収金	123,053,292	116,325,722	-6,727,570	預り金	3,438,741	3,474,028	35,287
未収補助金	1,607,000	0	-1,607,000	固定負債	543,328,110	514,884,290	28,443,820
前払金	2,643,468	361,784	-2,281,684	設備資金借入金	510,400,000	478,500,000	-31,900,000
固定資産	2,487,823,275	2,379,862,931	-107,960,344	退職給与引当金	32,928,110	36,384,290	3,456,180
基本財産	2,380,580,465	2,283,571,528	-97,008,937	負債の部合計	565,802,388	538,451,793	-27,350,595
土地	18,000,000	18,000,000	0	純資産の部			
建物	2,362,580,465	2,265,571,528	-97,008,937	基本金	62,081,323	62,081,323	0
その他の固	107,242,810	96,291,403	-10,951,407	国庫補助金等特別積立	1,518,406,844	1,447,760,070	-70,646,774
建物	1,255,570	1,179,431	-76,139	その他の積立金	324,696,146	324,696,146	0
構築物	14,079,487	13,250,639	-828,848	移行時特別積立	324,696,146	324,696,146	0
車輛運搬具	8,139,340	5,935,249	-2,204,091	次期繰越活動収支差額	471,766,565	531,328,554	59,561,989
器具及び備品	49,449,716	39,291,141	-10,158,575	(うち当期活動収支差額)	51,569,742	59,561,989	7,992,247
その他の固定	32,928,110	36,384,290	3,456,180	純資産の部合計	2,376,950,878	2,365,866,093	-11,084,785
その他の固定資産 (無形固定資産)	1,390,587	250,653	-1,139,934	負債及び純資産の部計	2,942,753,266	2,904,317,886	
資産の部	2,942,753,266	2,904,317,886	-38,435,380				

脚注 1 .減価償却費の累計額 435,793,620円  
 2 .徴収不能引当金の額  
 3 .移行時特別積立預金の積立不足額 183,696,146円

平成17年10月1日以降 施設利用料金表案

(単価/日)	施設利用料		所得段階	居住費 <sup>2</sup> 自己負担上限額	食費 <sup>3</sup> 自己負担上限額	4その他実費等	合計額	
	基本料(30日)	1各種加算						
要介護 1 (677)	20,310	1,110	第1段階	個室	15,000	10,000	12,000	45,310
			第2段階		15,000	12,000		47,310
			第3段階		40,000	20,000		80,310
			第4 6段階		50,000	48,000		131,420
			第1段階	多床室	0	10,000		43,420
			第2段階		10,000	12,000		55,420
			第3段階		10,000	20,000		63,420
			第4 6段階		10,000	48,000		91,420
要介護 2 (748)	22,440	1,110	第1段階	個室	15,000	10,000	12,000	60,550
			第2段階		15,000	12,000		62,550
			第3段階		40,000	20,000		95,550
			第4 6段階		50,000	48,000		133,550
			第1段階	多床室	0	10,000		45,550
			第2段階		10,000	12,000		57,550
			第3段階		10,000	20,000		65,550
			第4 6段階		10,000	48,000		93,550
要介護 3 (818)	24,540	1,110	第1段階	個室	15,000	10,000	12,000	62,650
			第2段階		15,000	12,000		64,650
			第3段階		40,000	20,000		97,650
			第4 6段階		50,000	48,000		135,650
			第1段階	多床室	0	10,000		47,650
			第2段階		10,000	12,000		59,650
			第3段階		10,000	20,000		67,650
			第4 6段階		10,000	48,000		95,650
要介護 4 (889)	26,670	1,110	第1段階	個室	15,000	10,000	12,000	64,780
			第2段階		15,000	12,000		66,780
			第3段階		40,000	20,000		99,780
			第4 6段階		50,000	48,000		137,780
			第1段階	多床室	0	10,000		49,780
			第2段階		10,000	12,000		61,780
			第3段階		10,000	20,000		69,780
			第4 6段階		10,000	48,000		97,780
要介護 5 (959)	28,770	1,110	第1段階	個室	15,000	10,000	12,000	66,880
			第2段階		15,000	12,000		68,880
			第3段階		40,000	20,000		101,880
			第4 6段階		50,000	48,000		139,880
			第1段階	多床室	0	10,000		51,880
			第2段階		10,000	12,000		63,880
			第3段階		10,000	20,000		71,880
			第4 6段階		10,000	48,000		99,880

1 (機能訓練体制加算:12円/日+常勤医師配置加算:20円/日+精神科医療養指導加算:5円/日)×30日

2 3厚生労働省発表モデル水準より

4 その他実費等:預かり金出納管理委託費、医療費、行事参加費、嗜好品費等。平成16年度平均費用より。

# ご紹介いたします。

前号でご紹介いたしました佐藤精一先生より自己紹介の原稿を頂きましたので改めてご紹介させていただきます。

二月十一日より新しく寿楽荘に月一回、土白曜に皆様方の診察に当たらせて戴く様になりました。きっかけは琴清苑の中野先生の紹介で、私の母校慈恵医大の先輩でもあり、天文研究会で時折お会いしていた際に今回の話がありました。私の自宅から約三時間程かかるので躊躇しましたが、今回ご縁があつて訪れる様になりました。

昭和五年一月生まれの七十五歳で新老人となります。入所者の方々の気持ちや少しでも理解出来る機会が得られたと思つています。現在は東京日本橋で人間ドック健診と一般内科を診療しています。生後五歳時より大田区に住んでいますので旧制中学は都立第八中学校で、その後早稲田大学理工学部工業経営学科を卒業し、更に慈恵医科大学の三年に編入学し、昭和三十年慈恵医大を卒業して更に日本赤十字社中央病院（現在日赤医療センター）で研修を終え二十六歳で医師となりました。その後慈恵医大で長期毒性に関する研究で学位を戴きました。処が父の急死で家業の東京と山形にあつた二百五十名程の精密機械工場の社長として約二十五年近く労働者と戦いながら経営して来ましたが昭和五十七年再度大学に戻り小児科を再勉強しました。労働衛生にも経験を積んでいましたので人間ドックにもかかわつて来しました。色々な経験から現在には主に人間ドックを主に労働衛生コンサルタントとして産業医活動、温泉療養の指導をする温泉療養医の認定、健康スポーツ医の認定等を勉強して参りました。これらの事が少しでも皆様方のお役に立てばと思つています。

趣味は天体観測（星の観望）、皆既日食の観測のため海外遠征観測が主で第一〇三二番の小惑星に「セイイチサトウ」の名を戴きました、オペラの合唱は年一回大ホールでプロの方々と、オーケストラと一緒に公演しています。ピアノ、ヴァイオリンを時にいぢっています。写真は世界最小のカメラ「ミノック」を愛用し、年一回写真展に参加しています。このカメラのフィルムは自分で切斷して作り、現像も自分で行います。中版カメラは良い作品の時に使います。

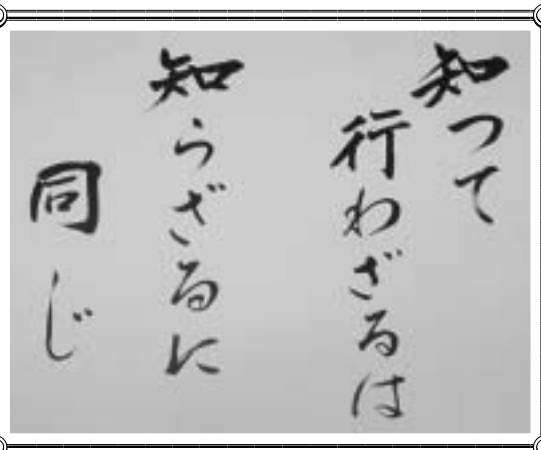
私の好きなものは美しいものや善いこと（自然のみでなく人間の行動、優しさ、思いやりなど）に感動することです。

私の嫌いなものは汚ないもの、人に危害を与えて人に迷惑をかけること。犯罪のみでなく、例えばタバコ毛煙で他人に健康被害を与えるものです。

奥多摩は自然に恵まれた東京の奥座敷と言われ美しい環境の中で皆様方と一緒に健康と自然を楽しんでゆきたいと思つています。

医師 佐藤 精一

- 個人情報保護法に関して
- 平成17年4月1日に「個人情報保護法」が本格実施となり医療・介護事業者については厚生労働省の「ガイドライン」も示され、個人の権利や尊厳にかかわる個人情報を扱うため、その取得、保護、更には管理を的確に行うことが求められています。
- 当施設としても、規程等の見直し整備を行い、基本方針及び利用目的を明確にしたうえで、利用者・ご家族・代理人の方々と「個人情報の使用に係る同意書（仮題）」を交わしていただくことを検討しております。



## 黙る会長の書

今後の行事予定 平成17年7月から平成17年9月迄(適宜変更あり)

7月	8月	9月
盆供養	地域祭典	敬老感謝祭
買物バス	盆踊り	彼岸供養
スイカ割り	スイカ割り	お月見会
	ビアガーデン	買物バス

### 編集委員紹介

- 広報委員長 村木 事務主任
- 編集委員長 清水 介護主任
- 編集委員 青木 栄養士
- 編集委員 小川 事務主任
- 編集委員 坂本 介護主任
- 編集委員 島崎 事務主任
- 編集委員 中村 介護主任
- 編集委員 牧野 介護主任
- 編集委員 三富 介護主任

訂正とお詫び  
17年4月号1ページ野口英世博士のことも において誤字がありましたので訂正しお詫びいたします。  
(誤)メアリー婦人 (正)メアリー夫人

『老い支度 覚え書』の構成 一部をご紹介すると

■ファイル 3冊のノートと封入り文書などをまとめたファイルです。今、人に見られたくないノートは、封筒に収めておきます。

■老い支度 覚え書 基本的には、お一人に1冊を想定して執筆しました。生い立ちや健康、思い込み、病歴、今の気持ちなど、夫婦であってもそれぞれ違うからです。

「遺稿は残さずして」「医療機関の覚え書」一冊分をまとめた覚え書。自分が意識を失っても医師が理解できる用語説明、服用中の薬、万が一の持病など、「緊急入院時にすぐ知らせる権利」-自分を守りつづけてくれる人やぜひ顔を見たい人、別れを告げたい相手などを記入します。

「葬儀の支度書」-いよいよの葬儀状態に合ったお葬儀の準備を続けたい方やお葬儀の準備が済んだ方です。

■封筒I: 遺言事項 封筒に収めた封筒用紙です。不動産はもちろんです。自分でも忘れている遺言などはありませんか？ 一度整理しておきましょう。

■封筒II: 別れの時に 封筒に収めた封筒。自分の意思について事前に考えるノートです。自分らしい葬儀を望むなら「お己様」の「人生を振り返って思うこと」「家族に伝える言葉」「友人・知人・お世話になった方へ」も書き残しましょう。

■封筒III: その他必要資料 遺言書の書き方と一緒。後見料等についての資料です。説明があります。書き込みノート以外の大切な資料もここに付けて下さい。

■写真集 記念になる写真や書、絵、手紙などを収める透明袋です。葬儀の時に飾ってほしいお気に入りの写真、別れの際故人の一生を振り返る際に直題のものを使ってもらえます。

ご注文方法  
下記注文書に記入してファックスが郵便でご注文下さい。お支払いが確認された次第に発行いたします。またインターネットからのご注文も可能です。

お支払い方法  
郵便振替  
口座番号 2740-7-41061  
加入者名 シニア暮らし会  
定価 1冊=1200円 (10冊以上の場合はお問い合わせください)  
送料 1冊=210円 2~3冊=310円  
お申し込みはご注文書と併せてお送りください。  
※4冊以上の場合は、こちらから郵送料を別途お見積りいたします。

【老い支度 覚え書】ご注文書  
郵便番号 \_\_\_\_\_ 郵便局 \_\_\_\_\_  
ご住所 \_\_\_\_\_  
お電話番号 \_\_\_\_\_  
お名前 \_\_\_\_\_

ご注文 冊